

2016年(平成28年)度 定時社員総会 議事録

日時：2016年(平成28年)3月29日(火) 14:30～15:30

会場：ビックパレットふくしま コンベンションホール (A会場)

開会の辞

渡辺庶務理事より、事前に寄せられた書面評決状の総数266通(第1,4～7号議案は賛成260、反対0、第3,8号議案は賛成259、反対0)、委任状なしでの総会出席者2名を加えて総数268名で、社員総数339名の過半数(170名)を上廻り、定款30条に定められた定足数を超え、社員総会が正式に成立することが報告され、開会の辞が述べられた。

議長選出

渡辺庶務理事より、定款33条に基づき、理事会にて第121回全国学術集会会頭の八木沼洋行氏(福島県立医科大学)を議長に選任したことが報告された。

I. 議事録署名人の選任

渡辺庶務理事より、定款34条に基づき、議事録署名人として監事の寺島俊雄氏(神戸大学)と和栗聡氏(福島県立医科大学)が推薦され、承認された。

II. 理事長報告

藤本理事長より、まず初めに、東日本大震災から5年での福島における総会開催に対して、福島県立医科大学の八木沼会頭をはじめとする実行委員への深い感謝と敬意が述べられた。引き続き、最近進展のあった海外交流に関して、2016年シンガポールで開催された第7回アジア太平洋国際解剖学会議(APICA)に対して、本学会からの企画シンポジウムと総会講演などにおいて参加協力を行ったこと、2018年に韓国で開催予定の第8回APICAとアジア太平洋解剖学会連合の組織設立に対して本学会が協力していくことが述べられた。さらに、これまで総会時期が重なっていたために積極的な交流が難しかったドイツ語圏解剖学会(Anatomische Gesellschaft, AG)との交流に関して、AG総会の開催時期が秋期に変更されたことにより、これまでの幹部レベル間から若手研究者間の交流に向けてさらに広げていきたいとの抱負が述べられた。

III. 報告事項

渡辺常務理事より、資料に基づき以下の点について報告された。

1. 会員状況

平成27年12月31日現在の会員状況は、正会員2,046名、名誉会員79名、永年会員143名、賛助会員28名、団体会員67名、海外会員18名であることが報告された。

2. 物故会員

11名の物故会員に対して、出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新代議員紹介

資料に基づき、教授就任による新代議員11名が紹介された。

4. 会員名簿2016発刊について

2015年12月に「日本解剖学会会員名簿2016」を発刊したことが報告された。

5. 各種規約の改定

「一般社団法人日本解剖学奨励賞規約」においては、受賞対象研究の実施場所に関して、および出産や育児により研究を離れた期間の申請書への記載に関して、規約の改定が行われたことが報告された。また、平成27年4月より施行された「人を対象とした研究に関する新倫理指針」と従来行われてきた解剖体を用いた人体解剖に関する教育研究活動との間を整理し、適切な倫理的配慮に基づいた人体解剖に関連する教育研究活動の今後の一層の発展を図るため、「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」を策定したことが報告された。

6. その他

日本学術会議による第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の公募(公募期間:平成28年2月8日～3月31日)に関して、本学会は、日本脳科学関連学会連合が申請予定である「健康社会の創成に向けた多次元脳・生体イメージングセンターの構築」に賛同する形で合同申

請に加わる予定であることが報告された。

IV. 審議事項

1. 新永年会員の件

理事会より推薦された6名の候補者について資料をもとに審議され、承認された。

2. 申請による新代議員の件

申請による2名の新代議員候補者について資料をもとに審議され、承認された。

3. 平成27年度事業および業務監査報告の件

①学術集会開催状況

平成27年度の全国学術集会と支部学術集会の開催状況が資料に基づき報告され、承認された。

②会議開催状況

平成27年度の常務理事会、理事会、定時社員総会の会議開催状況が資料に基づき報告され、承認された。

③学会誌の刊行状況

平成27年度のAnatomical Science International (ASI) 及び解剖学雑誌の編集・発刊状況が資料をもとに報告され、承認された。

④委員会報告

以下の委員会の活動報告書が資料で示され、承認された。

1) 編集委員会報告

2) ASI 編集委員会報告

3) 解剖組織技能士資格審査委員会報告

4) 解剖体委員会報告

5) 解剖学用語委員会報告

6) 海外交流委員会報告

7) 教育・若手育成委員会報告

8) 情報技術委員会報告

9) 学術委員会報告

10) コ・メディカル教育委員会報告

11) 倫理委員会報告

12) 男女共同参画推進委員会報告

また、各委員会からの追加発言として、海外交流委員会の小林直人委員長（愛媛大学）より、日独基礎医学研究交流として、横地千仞・喜與子日独医学交流基金がドイツ研究者の日本への研究留学に際して活用できることが説明された。また、情報技術委員会の桐生寿美子委員長（名古屋大学）より、学会ウェブページのバナー広告へのアクセス数が報告された。

4. 平成27年度決算および会計報告の件

寺田常務理事より、平成27年度決算について資料に基づき説明され、審議の結果承認された。さらに、牛木監事（新潟大学）と寺島監事（神戸大学）による平成27年度第3期業務年度における会計及び業務ならびに公益目的支出計画実施の実施状況の監査報告書と小出公認会計士による独立監査人の監査報告書の内容が説明され、承認された。

5. 平成28年度予算および事業計画の件

渡辺常務理事より平成28年度の事業計画内容が資料に基づき説明され、承認された。引き続き、寺田常務理事より、平成28年度予算について資料に基づき説明され、審議の結果承認された。

6. 平成29年度予算執行の件

平成29年度予算執行に関して、社員総会開催までの1~3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。

7. 第124回（平成31年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

藤本理事長より第124回（平成31年度）総会・全国学術集会開催担当校として日本歯科大学新潟生命歯学部（会頭：影山幾男先生）が推薦され、審議の結果、承認された。

8. 技能士認定規定一部改正の件

資料に基づき、解剖組織技能士認定規定、ならびに関連規約に関して、①職業能力開発促進法の定める独占名称に抵触する恐れがある現行名称『解剖組織技能士』から『認定解剖組織技術者』への名称変更、②衛生検査技師もしくは臨床検査技師の資格を有する者に認めている一級への「飛び級」受験制度について、認定解剖技術者に関しては廃止、認定組織技術者に関しては、現在の要件に加えて、「解剖学の研究・教育に用いられている組織標本の作製業務に3年以上従事している経験」の要件を追加することが提案され、審議の結果、承認された。

V. 第122回（平成29年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

第122回日本解剖学会総会・全国学術集会会頭の小路武彦氏（長崎大）から、『見る術を知り、形態

の本質に迫る『ダ・ヴィンチ哲学に学ぶ』の大会テーマで、平成29年3月28日～30日の会期で長崎大学坂本キャンパスを会場として行う予定であるなどの大会準備状況が報告され、学会への参加協力が呼びかけられた。

閉会の辞

八木沼議長より閉会の辞が述べられた。

上記の2016年度（平成28年度）定時社員総会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2016年（平成28年） 月 日

一般社団法人日本解剖学会
議長

署名人

署名人